

事例番号:380151

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第四部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 0 日

10:50 前期破水のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 39 週 0 日

17:00 陣痛発来

21:50 頃- 胎児心拍数陣痛図で変動一過性徐脈を認める

23:20- 胎児心拍数陣痛図で高度遅発一過性徐脈、軽度および高度遷延  
一過性徐脈を認める

妊娠 39 週 1 日

2:00 血液検査で白血球  $17400/\mu\text{L}$ 、CRP 0.41mg/dL

2:10- 胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数 50 拍から 80 拍/分程度の徐脈  
を認める

2:37 胎児機能不全のため帝王切開にて児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で絨毛膜炎 stage II (Blanc 分類)、臍  
帯炎 stage II (中山分類)

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 1 日

- (2) 出生時体重:2500g 台
- (3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.05、BE -19mmol/L
- (4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 4 点
- (5) 新生児蘇生:人工呼吸(バググ・マスク、チューブ・バググ)、胸骨圧迫、気管挿管
- (6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死、血液検査で白血球 23300/ $\mu$ L

- (7) 頭部画像所見:

生後 3 日 頭部 MRI で低酸素性虚血性脳症の所見

## 6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分:病院

- (2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 3 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症により低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性が高い。
- (3) 子宮内感染が脳性麻痺発症の増悪因子となった可能性がある。
- (4) 胎児は、妊娠 39 週 0 日の 23 時 20 分以降低酸素の状態となり、その状態が出生時まで進行し低酸素・酸血症に至ったと考える。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

妊娠 29 週 4 日以降の妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 39 週 0 日妊婦健診時の対応(内診、破水感の訴えあり羊水診断薬実施、超音波断層法等)および前期破水のため入院としたことは、いずれも一般的である。

- (2) 入院後の対応(分娩監視装置装着、抗菌薬投与等)は一般的である。
- (3) 分娩進行ありと判断した後の分娩監視方法(連続的に分娩監視装置装着)は一般的である。
- (4) 妊娠 39 週 0 日 21 時に子宮口開大度 8cm を確認し、妊娠 39 週 1 日 1 時の時点でも子宮口開大度 8cm で変化がなく、超音波断層法で回旋異常(後方後頭位)を確認した状態で経過観察を指示したことは選択肢のひとつである。
- (5) 妊娠 39 週 1 日 1 時 55 分医師の胎児心拍数陣痛図の判読と対応(胎児心拍数波形レベル 4 と判読、ダブルセットアップとしたこと)は一般的である。
- (6) 妊娠 39 週 1 日 2 時 10 分に胎児機能不全と診断し帝王切開を決定したことは一般的である。
- (7) 帝王切開決定から 27 分後に児を娩出したことは一般的である。
- (8) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (9) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、胸骨圧迫、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。
- (2) 低体温療法の基準を満たすため A 医療機関 NICU に搬送したことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

- 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項  
なし。
- 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項  
なし。
- 3) わが国における産科医療について検討すべき事項
  - (1) 学会・職能団体に対して  
なし。
  - (2) 国・地方自治体に対して  
なし。